

～予防しやすい癌～ヘリコバクター・ピロリ菌による胃癌

わりと簡単に予防しやすい癌があります。今回はそのご紹介です。

ヘリコバクター・ピロリ(*Helicobacter pylori*)という菌がいます。
物を溶かす酸がたくさんある胃の中でも生存できてしまう強者です。
ヘリコバクター・ピロリがいると胃が荒れます。

胃炎、胃潰瘍で済めば、まだマシです。

厄介なことに胃癌、MALTリンパ腫、特発性血小板減少症などの命に関わる
病気も引き起こします。

ピロリ菌が何十年も、胃の中に巣くって、胃を荒らし続けた結果、胃癌になって
しまうのです。

検査

ピロリ菌がいるかどうかは

血液、尿、便、呼気、胃カメラなど、いろいろな方法でチェックできます。

「消化器内科」と銘打っている病院なら、大抵できます。

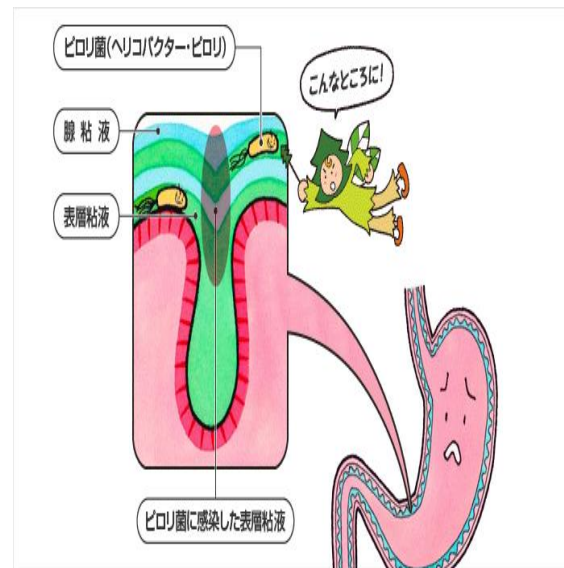
その病院で出来なくても、できるところを紹介してくれるはずです。

大きい病院じゃなくて大丈夫です。

平日の、近所の「消化器内科」も標榜されているクリニックを受診してください。

胃とか腸とかいう言葉が入っているとこです。

一度も検査したことがない&胃の症状がある方は、検査する価値があります。



治療＝除菌しよう

みつかったら必ず除菌しましょう。

抗菌薬2種類＋胃酸を抑える薬、合計3種類を2週間飲むというのが基本の除菌治療になります。

人によっては、抗菌薬による副作用で、下痢が出てきます。

でも、胃が荒れ続けたり、癌になるよりはマシですよ。

ちなみに除菌成功率は100%じゃありません。1回目で除菌できなかった人は他の抗菌薬に変更して再チャレンジすることになります。東京だと1回目で除菌できる人は70%ぐらいになっているみたいです。

除菌で100%胃癌を防げるとは限らないけど...

病気は白黒つけにくいです。

なので「ピロリを除菌したら、絶対胃癌にならない！」というわけじゃありません。

何故って、他の原因でも胃癌になることがあるからです。

例えば加齢。例えば胃に刺激を与え続ける食習慣。

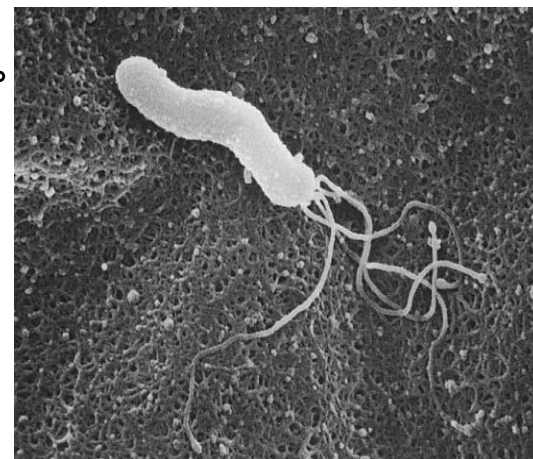
あと、ピロリ菌が長期間いた後では、除菌しても結局胃癌になるパターンもあります。

DNAエピジェネティクス変化が関係あるらしいです。

ただ医療者としては、ピロリ菌は胃癌になる大きなリスクの一つなので取り除きたいです。

防ぎやすい癌なんて、ごく稀です。

できるリスクマネジメントはやっておきたいところです。



お問い合わせ 03-6425-8858

監修 院長 古田晃